

## 案件に関連する指摘・対応状況

### 問題解決済

(1) 問題・指摘の概要
ソルタイ漁業・水産加工社（SFPL 社）の経営環境が悪化し、経営方針が転換したことから 2008 年頃から漁船が操業していない。
(2) 原因
SFPL 社側の経営方針の転換により、漁業は行わず工場での水産加工に特化することとなったため漁船が不要となった。
(3) これまでの対応及び現状等
2009 年 10 月にソロモン漁業省から政府保有のまま漁船を外部へリースし活用する方法が打診され、2010 年 3 月にソロモン側の適切な手続きと交換公文に記載のある取り決めに従うことを条件にリースを許可。ソロモン政府によりリースのための手続きが進められてきたが、2010 年 8 月、ソロモン政府の方針により SFPL 社の政府持株の一部を売却したことから、民間企業が SFPL 社の株式を半数以上保有することとなった。リースの許可は、SFPL 社が公社であることが前提であったため、SFPL 社とソロモン政府との関係や同社の経営環境、リース契約の内容・契約条件等を十分に精査した上で、リースの可否につき再検討を行い、漁船のリースを承認した。日本政府とソロモン政府との合意に基づき、2011 年 4 月に漁船のリースが開始され、2012 年 11 月現在漁船 2 隻は共に、順調に稼働しており、問題は解決済み。
(4) 今後の対応・教訓等
2011 年 4 月以降漁船のリースが開始され、現在も稼働している。引き続き漁船の使用状況等をソロモン政府を通じてモニタリングする。